

加茂精工、出雲に新工場

5.8億円投資、来春稼働

動力伝達装置の受注増で

機械部品メーカーの加茂精工(愛知県豊田市)は、島根県出雲市内に工場を新設する。歯車を用いた同社独自の動力伝達装置が有機ELディスプレイ、スマートフォン、電動

自動車などの生産設備向けに受注が拡大しているため、豊田市の本社工場に次ぐ2番目の生産拠点を設ける。投資額は計約5億8000万円で、来年4月に操業を始める。工業団地内にある約6400平方メートルの敷地を取得し、鉄骨平屋建て1250平方メートルの建物を建てる。今年10月に着工予定で、操業後3年間で10人を新規に雇用する計画。3日に島根県、出雲市と立地に関する覚書を結んだ。島根県は設備投資や雇用計画に対し約9800万円、出雲市も約8800万円を助成する。

同社の動力伝達装置は回転力を直線の動きに変換するもので、位置決め精度の高さなどから精密

機器の生産設備向けに採用が拡大している。操業後3年以内に同装置の生産能力を現在より30〜50%程度高める計画という。